

# 教育目標

- 子どもの思いに寄り添う感性を養い 個々の子どもの育ちを支える知識や技能を修得する。
- 一人一人の子どもの命を守り育てるために、医療的な知識及び学校保健の基本的な知識の  
修得と実践力を養う。
- 地域社会や家庭とよりよい関係を構築し、子育て支援の多様なニーズに対応できる力を養う。
- コミュニケーション力を高め協働する力を養う。

# 教育方針

## 《アドミッションポリシー》

- 保育や幼児教育に関心を持ち、深い愛情を持って、子どもとコミュニケーションがとれる人
- 子どもの命を預かる責任感をもって、常に注意深く子どもを見られる人
- 目標達成に向けて、日々の努力を惜しまず成長しようとする人

## 《カリキュラムポリシー》

ディプロマポリシー達成に向けて

- (1) 教育実習・保育実習を経てアクティブラーニング型授業での学習展開
- (2) 『保育・子育て支援演習』『保育実践演習』で取り組む《おひさま》を中心とした学習展開
- (3) 医療的な知識と学校保健活動の専門的な知識を学ぶためのカリキュラム連携

## 《ディプロマポリシー》

- 子どもの生きる力を育むために、さまざまな子どもの思いに慈しみをもち寄り添い、個々の育ちを支える知識や技能を身に付けている。
- 一人一人の子どもの命を尊び、守り育てるために、医療的な知識及び学校保健活動の専門性を有している。
- 地域社会や家庭とより良い関係を構築し、子育て支援の多様なニーズに対応できる力を身に付けている。
- コミュニケーション力を持ち協働する力を身に付けている。